

クニニカル

第25号

2017年5月20日

一般社団法人

自立生活センター三田

通信・発行

移り変わろうとしている『制度』について

厚生労働省ホームページに2016年7月15日に第1回「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部資料。つづいて2017年2月7日には「地域共生社会」の実現に向けて(当面の改革工程)概要が公表されています。

「我が事・丸ごと」とは何かと調べてみると。

日本の福祉制度は、これまで介護保険法、障害者総合支援法、子ども・子育て支援新制度など、各制度の成熟化が進むものの、これまで通りの縦割り行政ではカバーすることが出来なかった生活課題への対応について、今後は現在の制度では維持困難となる事が予測されています。そこで、「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部が設置され、「地域力強化ワーキンググループ」、「公的サービス改革ワーキンググループ」、「専門人材ワーキンググループ」として地域共生社会の実現に向けて審議され、2016年7月15日に審議された内容で、今後の法改正などの骨子が明らかにされました。

地域共生社会がねらうものとして、福祉サービスの提供を地域によって、その実情に応じて障害者・高齢者・子ども・精神などの各福祉分野の支援を「分け隔てなく支え合う」ために、総合的におこなえるようにすること。一つの施設内で高齢者介護、障害者支援も保育も行えるようにし、また、支援を受けるだけでなく「ときには支え手に回り、ともに支え合うことが重要」と述べ、例えば高齢者の食事を子どもが行うといったことも推奨され、さらに福祉の支援を行う者だけでなく、地域住民の参加を促し「インフォーマルな資源」を活用した地域の拠点づくりなどが強調されています。

こうして新しく制度が変わろうとしています。自らの生き方について真剣に考えて行かなければならない時ではないでしょうか？

(吉田)



- 目次 ☆制度について
- ☆障害者差別解消法について
- ☆「あるる」訪問研修&お花見
- ☆スタッフ感想
- ☆6月・7月ぴあぴあおしゃべりりんぐ予告



『障害者差別解消法』 どんな法律か知っていますか？

2016年4月1日より、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(以下、障害者差別解消法)」が施行されました。

2006年に国連において障害者の権利に関する条約(障害者権利条約)が採択されて以降障害のある人の自立と権利擁護の取組が進められています。条約では、「障害の社会モデル」という考え方にに基づき、社会のあり方そのものを見直すことが求められるようになりました。障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現するためには、日常生活や社会生活における障害者の活動を制限し、社会への参加を制約している社会的障壁を取り除くことが重要であり、障害者に対する不当な差別的取扱い及び合理的配慮の不提供を差別と規定し、行政機関等及び事業者に対し、差別の解消に向けた具体的取組を求めるとともに、普及啓発活動等を通じて、障害者も含めた国民一人ひとりが、それぞれの立場において自発的に取り組むことを促している。

三田市でも3月より市障害者差別解消条例検討委員会 が行われています。

検討委員会の今後の日程

・6月2日 ・6月30日 ・8月1日 ・9月1日

・いづれも 15時-17時

ぜひ傍聴にいきましょう。。。。

お問い合わせ先

健康福祉部 福祉推進室 障害福祉課 電話 079-559-5075



M Y



4月6日桜ノ宮駅に介助スタッフ達と降りました。雨を心配した曇天空でしたが、予想していたとおり駅の近くに流れる大川沿いには美しい桜、桜、桜の下で花に負けないくらいにはしゃぎながらお昼を楽しみました。

この日の第一の目的は『自立生活センターあるる』の訪問研修。

『あるる』では自立生活センターあるるの理念と活動について、代表の太田さん、岩下さんから詳しくDVDを見ながらのお話を伺い、あらためてCILの力強さを学ばせて頂きました。

15時から、作業所『あるくる』のメンバーの方々との楽しい歓談をさせていただきました。あるくるの元気で活動的な障害者の方達との出会いは、三田の介助スタッフ達にとって刺激的で新鮮な体験をさせて頂き貴重な一日となった事は言うまでもありません。

後になりましたが、『自立生活センターあるる』と『あるくる』の皆さま、ありがとうございました。

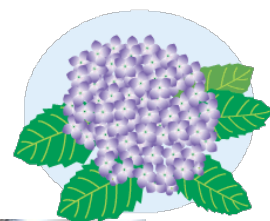
お花見



桜が美しい桜之宮駅で下車して
研修の前にお花見をしました。
桜の下で食べる巻き寿司は最高！



2017年4月6日 はんど&はんど研修



「自立生活センターあるる」訪問研修

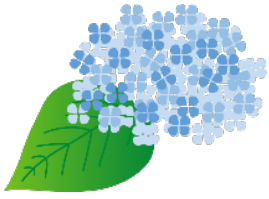


始めに代表の太田さんから CIL の理念と活動のお話を聞かせていただきました。

施設から自立された方の体験談や『あるる』での支援と取り組みなど、映像を見ながらのお話は、CIL の理念ならではの力強さがありました。

この後の、作業所『あるくる』との皆さんとの歓談もとても楽しく、三田のスタッフたちは多くのことを学ばせてもらえて、ほっこりした1日となりました。

の暖かく迎えて下さった『あるる』と『あるくる』の皆さま、本当にありがとうございました♡



スタッフが感じたことを紹介します

障害をもつ人が地域で自立生活を送ること、地域で自分らしく生きていくことを応援し、どんな人も大切にされる社会に変えていこうと、地域から発信していると活動説明がありました。

施設から地域へ・家から地域へ移行される方の支援を実践し、ピア・カウンセリングによるロールモデルなど、自立生活プログラムでは自分のスキルを上げ金銭管理を可能にするなど・福祉制度や社会資源の情報提供などの実際の活動を聞かせていただきました。施設から地域への移行を実際にしたと、「あるる」を利用されている方から直接に貴重なお話を聞くこともできました。

また、障害者差別解消法の施行から一年が経ち、合理的配慮が行政などでは義務となり民間では努力義務と定められたこと。それが、障害者だけという括りではなく、社会の中に合理的配慮が成されれば良いとの意見にとても共感できました。社会全体に合理的配慮が浸透すれば、暮らしづらさや生きづらさが少しずつでも解消されていき、障害のあるなしに関わらず、すべての人たちが住みやすい社会が形成できるだろうと思いました。

K. O



先日「自立生活センターあるる」へ行かせていただきました。「あるる」では、普段では気付かない様々な発見や学びが多く、自分の見解が広がるとても有意義な時間でした。

たくさんの「あるる」の事業内容を聞くことができましたが、一番印象に残っているのは自立生活を始める前やスタートアップに関する活動です。障がい者の方々が施設から自立生活を始めるにあたり、綿密な打合せや自立生活プログラムの種類の多さに本当に驚きました。私は吉田さんが自立生活を始められて随分経った後から介助に入らせてもらっているため、現状を当たり前だと感じていました。しかし、「あるる」の当事者から自立生活を始めるためには数々の苦労や障害が立ちはだかるのだと知り、改めて吉田さんの自立生活への想いを感じることができ、大切にしていかなければならないと思いました。

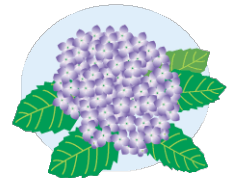
また「あるる」に行った際、最初は車椅子の方が多いな、という印象を受けましたが、終わる頃にはスタッフの方々が車椅子に乗っていることなど忘れてしまうぐらい、それぞれの方がやりがいを持って仕事をし、他の障がい者の支援をサポートしている姿に感銘を受けました。

今回お世話になりたくさんのことを学ばせていただいた「あるる」のみなさんに感謝すると共に、今後「自立生活センター三田」では吉田さんの自立生活が快適におくれるように自分ができることを精一杯頑張りたいと思います。

K. K

皆さんとても生き生きとされていて、前向きな事に正直驚きました
と同時に「障がいの方が独り暮らしできるなんて・・・」と少しでも思う自分がいて、この様な考え方が、障がい者の方達を施設や家に閉じ込めているのだと改めて思いました
地域移行という言葉を知り、障がい者の方達が、地域で自分らしく暮らせるように少しでもお手伝いできたらと思いました。車イスの大きさ、種類、仕様の違いなど、それぞれの障がいに合わせた作りになっていました
それと同じ様に、それぞれに合わせたお手伝いができるように地域で繋がっていかれたらと思います。

K. S



4月6日私は始めて「あるる」へ行かせて頂きました。
正直、不安もありました。“失礼をしてしまったらどうしよう、、、。”“何を話せば伝わるのだろうか、、、。”“話し方はゆっくりがいいのかな、、、”そんな事を考えながら大阪に向かいました。
しかし、行ってみると今まで不安になっていた事が全て無意味で壁を感じさせないと言いますか、壁を壊してくれたようでした。
そして「あるる」が取り組んでいることを教えて頂き、中でも自立生活プログラムのお話を聞いているとき、私はわくわくしました。「自分の人生を自分自身で選んで決める」これこそ、自立生活であり、皆にその権利はあるのだと思いました。そして「あるる」で出会った方々が生き生きと素敵な笑顔なのも自分の人生を一生懸命に歩んでおられるからだと感じました。
三田では障害者の方をあまり見かけません。それはいらっしやらないのではなく、三田が出かけにくい。生活しにくい。それが理由にもあると思います。
「あるる」で学んだことを無駄にせず、私たちの住む、私たちの街 三田をもっと障害者の方が住みやすい街にしたいと思いました。

N. I

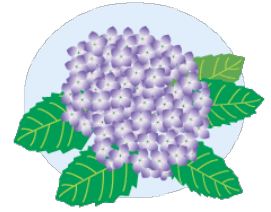


私は今回の自立生活センターあるるさんを訪れた研修を通して、今まで以上にCILの有意義性について学ぶことができました。

今回の研修ではCIL(Center for Independent Living)の成り立ちを改めて学び、自立生活センターあるるさんが行っている活動を教えていただきました。その中で最も印象に残っているのは、自立生活の実現に向けての活動です。自立体験室で実際に自炊や介助を使った生活を送ることで、自立生活する中で何が必要なのか、何が困難であるのか等をあらかじめ体験できるのはとても素晴らしい活動だと感じました。

自分の身の回り的人、そして自分自身が身体的に不自由な状況になるのかはわかりません。今までCILについての知識はあまりありませんでしたが、CILの活動は他人事ではなく自分にとって関係のあることだと考え、積極的に自ら自立生活センターについて学んでいこうと感じました。

Y. M



私は、自立生活センターあるでの研修を終えて、障害者による自立生活への希望や、それを実現することの難しさを知りました。研修の前半では、自立生活センターあるが創設されるまでの経緯や、あるの歩みと共に少しずつ変化してきた障害者に関する法律の歴史などのお話がありました。そのお話を聞いて、障害者の方が社会にでて一人で暮らすことがどれほど難しく、またそれを難しくさせている社会の在り方について改めて考え直す機会を得ました。

また、私が最も楽しかったのは、あるの障害者の方々との懇談会です。最初は何を話せばいいのか分からなかったり、必要以上に気を使ってしまったりと、なかなか打ち解けてお話することができませんでした。しかし、相手の方が気さくに話しかけて下さったことで、すぐに共通の趣味や話題で盛り上がりました。今思えば、話し始めた時の私は恥ずかしながら、相手が障害者であるということで無意識のうちに必要のない気を張っていたように思います。

今回の研修を通して、吉田様以外の障害者の方々との交流という貴重な経験をすることができました。また、ある障害者の方々は、皆さんとても明るく前向きな方ばかりの印象を受けました。自分らしく生きるために自立生活を目指し準備を進めているあるの方々は本当に素敵だなと感じました。

Y. Y



健常者の私が生活するうえで当たり前にしてきたことが、障害のある方は「あなたには無理！ できるわけないよ」と言われ何もさせてもらえず生活されていること。当たり前のことが当たり前できないことがとても悲しく思いました。障害のある方が住み慣れた地域で自立生活を送るにはたくさん問題があります。

その問題を解決するために、様々な取り組みをされていました。

例えば、自立生活プログラムや自立体験など、障害のある方が自立へ向けて考えたり体験したりし自立の準備を進め、経験し力をつけ自立生活へのステップにするそうです。

学校での授業、地域のお祭りへの参加など、周りに知ってもらおう努力もされていました。

作業所あるの方々とお話して、スポーツが好きな方、音楽、映画など私らと一緒にやなあ・・・と思いました。もっとゆっくりとお話したかったです。

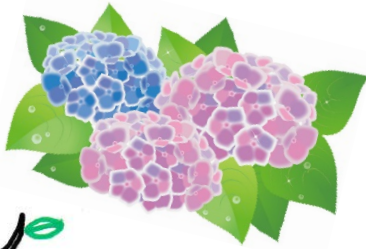
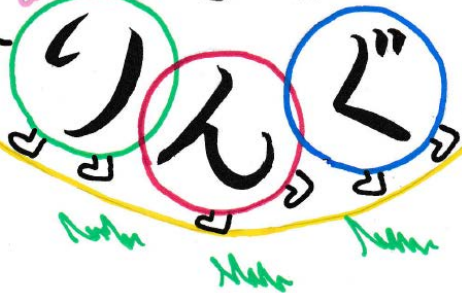
障害があっても、障害がなくてもひとりひとりが大切にされ当たり前のことが当たり前ができる社会になればいいなと思いました。

私ができることは何なのか、小さな力かもしれませんが少しでも力になればいいなと思います。

S. T



ひあひあ おしゃべり



あんしん はな ば
安心して話せる場をつくります。
しょうがい どうし きらく
障害のあるひと同士、気楽におしゃべりしませんか？

☆つらいこと、いやな思い、我慢していること、知って得する情報
などなど 等々、どのようなことでもお伝えできる、情報紙を企画中です。

しょうがいしゃさべつかいしょうほう
障害者差別解消法についてこれから三田でも取り組まれようとしています。私達も差別とは何だ
ろうと考え、住みよい街になるために一緒に考えませんか。ぴあぴあに行きたいけど、何かの理
由で来られない方も、ご相談ください。(場所、時間、移動方法・・・等々何でも O.K)色々な方との
交流の輪が広がる事を願っています。初めての方も大歓迎！是非一緒におしゃべりしましょう。

【場所】 三田市総合福祉保健センター

【日時】 6月14日(水) ・ 7月19日(水)

13:30 ~ 15:30

飛び入り参加も大歓迎です

【お問い合わせ・お申込み】 自立生活センター三田

☎079-567-3578 FAX079-567-1856 mail:cil_sanda@yahoo.co.jp



私は歯科衛生士をしてきて、主婦を経て介護職に興味を持ち 現在介護系資格取得の為週1回学校に通いながら『自立生活センター三田』で実務経験を積ませていただいています。学校で介護倫理・知識・技術を学びますが、方法や手順は利用者様一人一人違いう法則なんて存在しません。利用者様の気持ちや立場に立って傾聴する姿勢・寄り添う心が大切だと思いました。いつでも丁寧なケアでコミュニケーションもしっかりと取れる介助者になれる様頑張りたいです。

♡佐伯美紀♡

(編集後記)今回は研修を通して色々な思いをスタッフが語ってくれました。お花見もかねて実り多い一日となりました。自立生活センター三田の庭にもやっと春がやってきたと思ったら、あっという間に初夏の兆し。四季折々の草花が季節を運んで来てくれます。また機会があればご紹介いたします。

(前川)



☆障害を持っている方



自立生活センター三田のスタッフになって働きませんか？

ピア・カウンセリングやクロニクル編集などなど、他市の障害の仲間との交流をひろげましょう！！そして、悩みや不安を共有しながら、一緒に自立生活センターをつくってみませんか。

(交通手段等何でも、相談に応じます)

☆介助スタッフ募集



障害を持つ方の生活を支えるやりがいのあるお仕事です。

資格、経験のない方でも相談に応じます。

(資格取得応援します)

時間 ①10:00～19:00 ②19:00～8:00

(短時間でも、相談に応じます)



☆ボランティアさん募集

各種イベント、クロニクル活動などなど、ご興味のある方は、是非ご連絡ください！

すべて詳細は下記にお問い合わせ下さい。

2017年5月20日発行

一般社団法人 自立生活センター三田

三田市駅前2番1号 三田市まちづくり協働センター6階気付

☎ 079-567-3578 <http://cil-sanda.jimdo.com/>

✉ cil_sanda@yahoo.co.jp



